



〇情報モラルについて学びました

12月19日(金)に、佐賀県警察本部人身安全・少年課少年サポート係の方を講師に迎え「親子で学ぶ情報モラル学習会」を小5から中3の生徒とその保護者を対象に開催しました。講師の先生から、「スマホを本当に管理できるようになるのは25歳から、スマホと脳とドーパミンの関係、越境体験の必要性、ペアレンタルコントロール」など様々な内容をお話いただきました。その後、スマートフォン等を利用していくうえでの下記質問について考え、学びを深めました。

どんな力をつける必要があると思う？(生徒回答)

- ・(インターネット上の)情報を信じすぎない力
- ・現実とネットをしっかりと区別する力
- ・してよいのか、いけないのかを正しく判断する力
- ・AIかどうかを見抜く力
- ・自分をコントロールする力

どんなことに気をつけていきますか？(生徒回答)

- ・ネットと知り合った人とは会わないこと
- ・使いすぎない(スマホ依存にならない)こと
- ・(SNS利用時に)相手の立場に立って考えること
- ・家族でスマホの利用時間や使い方を話すこと
- ・越境体験などの記憶に残ることをすること



〇ドリームブックのプレゼント

卒業生を対象に子どもたちの心を豊かにしたり、心の支えとなったり、将来に活かせたりすることができる書籍を贈る「ドリームブック」を冬休み前にプレゼントしました。



〇本物の歌声と演奏

1月15日(木)に公共ホール等活性化支援事業の一環で、オペラ歌手(バス・バリトン)の小野寺光さんとピアニストの林直樹さんをお迎えして、オペラの曲を披露していただきました。小野寺さんの歌や話、林さんの演奏に生徒たちもすぐに引き込まれ、あったという間の1時間でした。このような機会を提供いただいたリバティの皆様、本当にありがとうございました。

今後も、このような本物に触れる、感じる時間を積極的に設けていきたいと思います。



小野寺さん、林さんへのお礼の手紙より
 ○オペラを実際に見ることが初めてだったので、楽しい体験ができて、とても楽しかったです。
 ○林さんのきれいで繊細なピアノに、小野寺さんの力強い歌声がマッチしていて、すごく「美しい」という言葉が似合っていました。
 ○オペラを聞いて、曲の言語は全然違ったけど、曲の情景や作者の思いが沢山伝わってきて、音楽は面白いと感じました。
 ○今日の授業で、歌う時の声の出し方や姿勢など見たり、聞いたりして学ぶことができてよかったです。
 ○ずっと聴いていたくなるようなオペラで、とても楽しく貴重な時間を過ごすことができました。
 ○オペラは、言葉が分からなくても、表情や身体の動きでなんとなく想像できるおもしろいものだと思います。

○「起業ってなあに？」

1月15日(木)の5時間目に、1年生を対象に「先輩に学ぶ学習会（キャリア教育）」を開催しました。今年度は、大学時代に同級生と一緒に会社を立ち上げた株式会社WIDE代表取締役の北原さんから起業のことやチャレンジの大切さなど、これまでの経験からのご自身の学びをお話しいただきました。

「スタートアップ」「スモールビジネス」などのビジネス用語もあり、少し難しいかと思いましたが、目を輝かせて一生懸命に話を聞いている姿を見ることができました。



生徒感想より

○起業家のリアルを聞くことができて、とても楽しかったし、面白かったです。
 ○私は、まだなりたい職業が決まっていなくても、先生の話聞いて、「なしたい」ことを見つけないと思いました。
 ○北原さんのように大きなチャレンジはできなくても、チャレンジする気持ちを忘れずに生活していきたい。

○挑戦するなら早めにした方がよいと聞いて、これからたくさんしていきたいと思いました。
 ○話を聞いて僕が知っている職業以外にもいろいろな職業があると分かりました。

○お茶の淹れ方を学びました

本年度も日本茶インストラクターの緒方さんと県茶商工業協同組合の方に来校いただき、1年生に「お茶の淹れ方」についての講義と体験をさせていただきました。お忙しい中に、ありがとうございました。



生徒感想より

○緒方さんの話を聴いて、甘味、旨味、渋味、苦みのいろいろな成分が入っていると分かった。
 ○お茶の淹れ方教室では、チャオシルで学んだことを発揮してまわしつぎができたので良かったです。
 ○学んだことを生かして、家でお茶を淹れたいと思いました。
 ○最後の一滴がおいしくなる秘密なんだと知りました。

○「カットバン」を寄贈いただきました



祐徳薬品工業株式会社様から「地域貢献」の一環として、嬉野市教育委員会を通じて「カットバン」を寄贈いただきました。保健室等で有効活用させていただきます。ありがとうございました。